

製品名: Cullin 4A/4B ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85466**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 104 kDa; Observed MW: 88,104 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cullin 4A/4B
別名	CUL4B; KIAA0695; Cullin-4B; CUL-4B
遺伝子 ID	8450.0
SwissProt ID	Q13620
免疫原	ヒト Cullin 4B の合成ペプチド

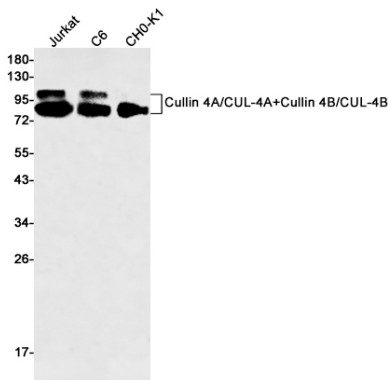
背景

標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する、複数の Cullin-RING ベースの E3 ユビキチンタンパク質

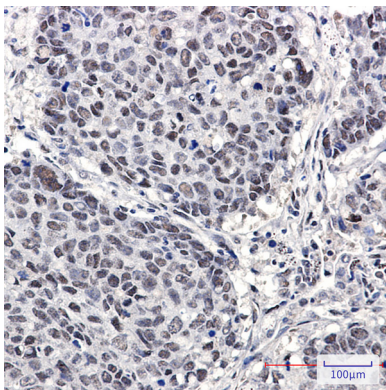
リガーゼ複合体の中核成分。E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の機能特異性は、可変基質認識サブユニットに依存する。CUL4B は複合体内で足場タンパク質として機能し、基質とユビキチン結合酵素の配置を介して触媒に寄与する。放射線誘発性 DNA 損傷に対する応答として、CDT1、ヒストン H2A、ヒストン H3、およびヒストン H4 のポリユビキチン化において、E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の一部として役割を果たす。DDB2 によって紫外線損傷を受けたクロマチンに標的化され、DNA 修復および DNA 複製に重要である可能性がある。サイクリン E のユビキチン化、ひいては正常な G1 細胞周期の進行に必要である。細胞の成長、サイズ、代謝の制御に関する哺乳類ラパマイシン標的タンパク質 (mTOR) 経路を制御します。CUL4B による mTORC1 を介した経路の特異的制御は 26S プロテアソームの機能に依存しており、CUL4B と MLST8 の相互作用を必要とします。

研究分野

画像データ



Cullin 4A/4B 抗体を使用した、Jurkat、C6、CHO-K1 溶解物中の Cullin 4A/CUL4A+Cullin 4B/CUL4B のウエスタンブロット分析。



Cullin 4A/B 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。